

(5) 製造間接費の計算(部門別計算)

- ① 4つの原価要素の製造間接費を部門別に纏める
- ② 各部門の製造間接費を製造部門へ纏める(「製造間接費」「間接費分の振替」内で部門別配賦計算)
 - 1) 門共通費を下位の部門個別費へ配賦する(一次配賦)
 - 2) 補助部門費を製造部門へ配賦する(二次配賦)

部門別計算

※以下は製品別計算ですが、経費関連なのでここで記しておきます。

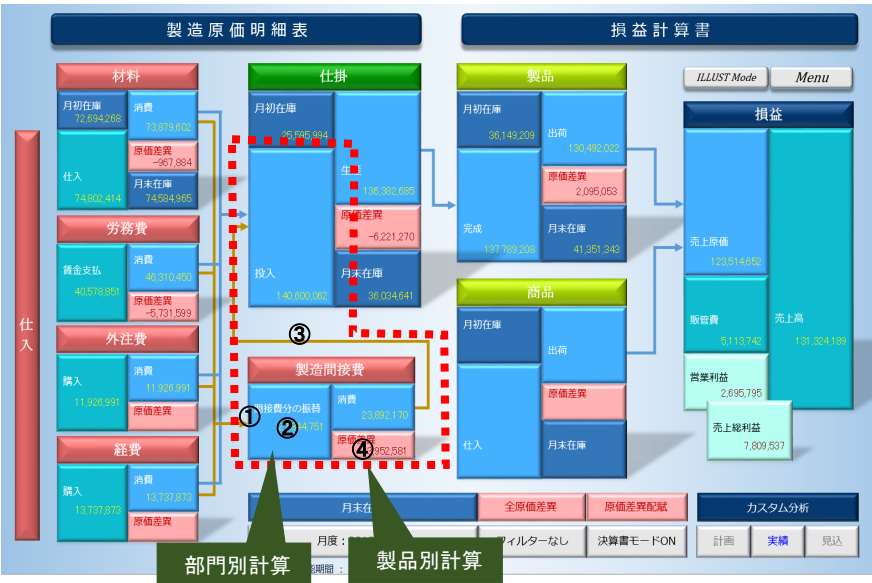
- ③ 製造間接費を製造の製品へ配賦する(「製造間接費」「消費」から「仕掛」「投入」へ製品別配賦計算)
- ④ 原価差異が分かる(「製造間接費」「原価差異」から「損益」「売上原価」)

製品別計算

製造間接費の配賦計算は、製品との紐付きがない費用を製品と紐づかせるための計算です。製品との紐付きが直接的にはないため、“部門費用”として部門に纏めた上、製品とより紐付きのある製造部門に最後は集めます(製造間接費BOXの借方)。

つまり原価計算をより正確に行うための方法であり、部門設定を細かく行うほど正確になります。一方で部門別計算を細かく行くと、設定が煩雑な上、その意味するところが埋没してしまい、結果的にあまり効果がないものとなる可能性もあります。従って部門別配賦計算の設計には両者のバランスが重要です。

そしてこの後、製造部門に集まった費用を、直接費の製品への賦課方法と同じものを使って製品へ割り当てる(オレンジの矢印)という方法をとります。これが製造間接費配賦計算の最終段階の製品別配賦です(製造間接費BOXの貸方)。



この製造間接費の配賦計算をもう少し細かく書くと以下の3段階を経ます。

- 1) 部門共通費の配賦 : 複数の部門にまたがっている費用(部門共通費)を部門個別費に固定比率等*1で下位部門へ配賦します
- 2) 補助部門費の配賦 : 部門個別費用のうち、製造部門以外の補助部門費を固定比率等*1で製造部門へ配賦します
- 3) 製品への配賦 : 製造部門へ集まった製造間接費を直接費の製品への賦課方法と同じものを使って*2製品へ配賦します

つまり原価計算をより正確に行うための方法であり、部門設定を細かく行うほど正確になります。一方で部門別計算を細かく行くと、設定が煩雑な上、その意味するところが埋没してしまい、結果的にあまり効果がないものとなる可能性もあります。

従って部門別配賦計算の設計には両者のバランスが重要です。

この時3)の段階で計算された“実際レート”と“標準レート”の差が④「原価差異」(単価差異*3)データとして作られます。

*3製造間接費は原価差異を単価差異／数量差異の2種類に分解表示する方法の他、「予算差異」「能率差異」「操業度差異」の3種類に分解表示もできます(シュラッター分析)

*1 固定比率以外はカスタマイズ対応です
*2 直接費同等方法以外はカスタマイズ対応です

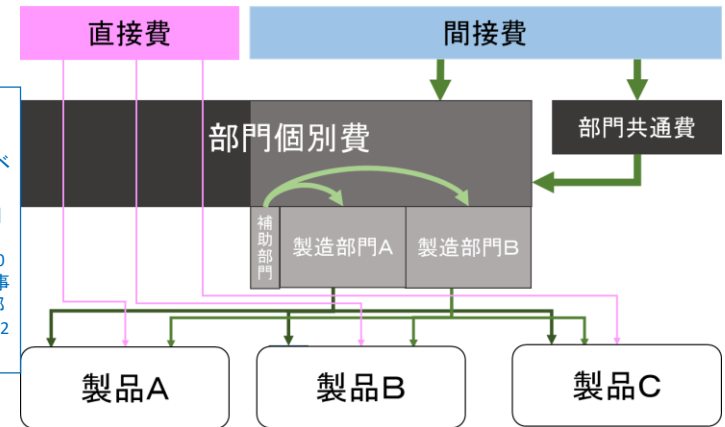
SHINIによる製造間接費の部門別配賦結果(②押下時)

金額	出入庫分類	間接費配賦レベル	113 間接費振替	131 共通部門費配賦	132 補助部門費配賦	総計
部名	部署名	1	2	3	32	
0 全社共通	1000 全社共通	120,917,673				120,917,673
00 全社共通	1000 全社共通	630,655	▲ 121,548,328			▲ 120,917,673
00 本社共通	1100 本社共通		121,548,328	▲ 121,548,328		
1110 製造部	1110 製造部共通	209,611		45,094,430	▲ 45,304,041	
	1111 製造Gr	7,180,391			45,304,041	18,393,703
1120 生産管理部	1120 生産管理部共通	162,775		48,862,428	▲ 49,025,203	
	1121 品質保証課	17,744,591			18,874,703	▲ 36,619,294
	1122 生産管理課	3,527,822			3,774,941	▲ 7,302,763
	1123 検査課				26,375,559	13,706,433
1130 機械部	1130 機械部共通	0		8,751,480	▲ 8,751,480	
	1131 加工技術課	2,263,013			8,751,480	6,972,508
1140 業務部	1140 業務部共通	831,440		12,519,478	▲ 13,350,918	
	1141 営業Gr	138,880			0	138,880
	1142 金型課	12,261			4,005,275	5,845,630
	1143 設計開発課	2,657			8,010,551	2,819,686
	1144 生産技術課	1,617,046			1,335,092	▲ 2,952,138
1150 管理部	1150 管理部共通	0		0	0	0
	1151 管理課	▲ 243,229			0	▲ 243,229
1160 新規事業部	1160 新規事業部共通	137,613		6,320,513	▲ 6,458,126	
	1161 新規事業Gr	1,253,100			6,458,126	3,153,772
	1162 新規事業検査				0	0
総計		156,386,300	0	0	0	▲ 0

1) 部門共通費の配賦

下位部門がある費用は最下位部門(個別部門)となるまで固定比率で配賦計算を行う(レベル3が個別部門費用)

下配例では1000全社共通部門で発生した間接費が⇒レベル1:1100本社共通⇒レベル2:1110製造部共通、1120生産管理部共通、1130機械部共通、1140業務部共通及び1160新規事業部共通へ配賦され、例えば1120生産管理部共通⇒レベル3:1121品質保証課(個別)と1122生産管理課(個別)に配賦されます。



2) 補助部門費の配賦

製造部門以外(補助部門)の製造間接費は固定比率で製造部門へ配賦計算を行う。最終的に集まった製造部門ごとの製造間接費は「総計」に集計されている。
この例ではピンクの6か所の塗りつぶし箇所が該当する。

最終的に集まった製造部門ごとの製造間接費は「総計」に集計されている。
この例では緑の6か所の塗りつぶし箇所が該当する。